

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ソシオス		公表日 2026年 4月			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	前日に打ち合わせをし、スペースや子どもの状態を検討し効果的な活動を実施している	今後も打ち合わせを行いスペースを有効活用していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	0	通所人数に応じて人員配置の調整を行っている	職員のスキルアップを目指し研修やディスカッションを増やしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また	14	1	子ども達の目のつきやすい位置や高さに掲示物を貼りこの後の活動がわかりやすく表示している	2階が療育場所になるのでバリアフリー化は検討していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども	15	0	毎日の清掃、消毒を実施している 危険な物がないかチェック表を使い実施している	今後も環境整備を実施していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環	15	0	クールダウンできるよう静養室と療育室を分け活動している	今後も同様に実施していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職	15	0	事前打ち合わせを毎日行い、子ども達の情報共有を行っている 必要な場合は緊急にケース会議をおこなっている	今後も継続して実施していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けてお	14	1	ホームページで評価、公表を行っている 評価から頂いた意見を話し合い改善につなげていく	引き続き改善できる点から改善していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につな	15	0	職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげる	今後も継続して実施していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	15	第三者評価は行っていない	今後検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修	15	0	社内研修に力をいれ、職員の資質向上をめざしている	今後も継続して実施していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	ホームページで公表を行っている	保護者や通所希望者に周知していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズ	15	0	適切なアセスメントができるようケース会議を行い、保護者や本人のニーズや課題を客観的に捉え分析して個別支援計画書に反映させている	適切なアセスメントのもとに目標達成にむけ計画、療育の質を向上させていく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者	15	0	子どもに関わる職員全員に情報共有を行っている	職員間で情報共有できるようミーティングの回数を増やしていく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行	15	0	ケース会議での情報共有とともに個別支援計画書をいつでも確認できるようにしている	今後も継続して実施していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなア	15	0	日々の行動観察や保護者、関係機関からの情報収集を行っている	今後も継続して実施していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放	15	0	ガイドラインに沿って支援や目標の設定を行っています 本人、家庭、連携機関の情報をもとに個別支援計画書に反映し、設定しています	子どもの発達状況を踏まえ具体的な支援内容を設定していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	ケース会議を行い、目標の達成状況を確認して支援内容を決めている	職員間で情報共有できるようミーティングを行い、立案がおこなえるようにする
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	日々の行動観察やプログラムの内容検討を行い振り返る時間を設けている	達成できていない場合は継続して取り組み子ども達が楽しんで参加できるよう工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後	15	0	基本的には集団療育を行い状況に応じて個別に対応できるよう職員を配置し内容を個別支援計画書に反映している	職員間で情報共有できるようミーティングを行い、立案がおこなえるようにする

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容	15	0	支援前に利用者の確認、送迎の確認、利用者の様子や支援目標、支援手順の打ち合わせを行っている	今後も継続して実施していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振	15	0	支援後30分程度のミーティングを行い利用者の様子や達成状況の共有を行っている	今後も継続して実施していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげ	15	0	日々の記録を記載し共有している	今後も継続して実施していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要	15	0	支援計画の更新や必要に応じてモニタリングを実施している	今後も継続して実施していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ	15	0	4つの基本活動、1自立支援と日常生活の充実のための活動、2創作活動、3地域交流の機会の提供、4食糧の提供のうち1・2・4を組み合わせ活動を実施しています	今後も継続して実施していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をす	15	0	子ども達が選択したり意思表示ができる機会を設けている	今後も継続して実施していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そ	15	0	児童発達管理責任者、管理者、担当など適任者を選んで出席している	今後も継続して実施していく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等	15	0	必要に応じて地域連携機関と連携している	今後も継続して実施していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確	15	0	保護者、学校等と情報共有を行っている	今後も継続して実施していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事	15	0	保護者の要望に応じて園等と連携を図っている	今後も継続して実施していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	15	0	保護者や利用者に卒業後の情報を提供し面談を行っている	今後も継続して実施していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	15	0	保護者の要望に応じて園等と連携を図っている	今後も継続して実施していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	15	0	必要に応じて連携を図ったり、活動する事がある	今後も継続して実施していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	15	機会があれば参加していく	今後も継続して実施していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	面談や電話等で話し情報共有している	今後も継続して実施していく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	3	家庭内の状況を把握し相談やアドバイスを個別に対応し共有している	ペアレントトレーニングのプログラムを充実させていきたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	4	契約時や説明を求められた時など必要に応じて説明を行っている	保護者の方に分かりやすく説明していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点で踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	面談を行い保護者や本人の要望や意向を確認しています	面談の回数を必要に応じて行い保護者や本人の要望や意思の確認を行っていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0	面談を行い、計画内容の説明、同意を行っている	今後も分かりやすく説明し同意してもらえるよう努める
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	保護者と情報共有し相談やアドバイスを行っている 必要に応じて連携機関との連携を行っている	今後も継続して実施していく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護	8	7	過去に保護者有志による食事会やお祭りの手伝いを行っていたが現在は実施できていない	以前のように保護者同士が交流できる場を提供していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて適切な対応に努めています 苦情受付、解決担当者は契約の際に説明している	引き続き迅速な対応に努め、相談体制を整えていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活	15	0	定期的に情報や写真などを発信しています	今後も適切な情報発信ができるように努める

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	1	個人情報が記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。	今後も適切な管理方法を行っていく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	2	理解度に合わせて提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。	引き続き、より良い支援ができるように努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	0	行事の際は地域のお店に協力を頂いたりしています。学生ボランティアによる学習指導を行って頂いたりしています。	今後も継続して実施していく
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応	15	0	事故、災害、感染症などのマニュアルを作成して対応方法などの確認を行い、保護者会にて説明しています。安全計画の中で全ての研修や訓練を計画し実施しています。	今後も継続して実施していく
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的	15	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアルの読み合わせ等を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	15	0	フェイスシートや発作時対応シートを提出いただき、毎年確認しています。	今後も継続して実施していく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされ	15	0	面談の時にアレルギーについての情報共有をし看護師を中心に対応マニュアルを作成し実施している	今後も継続して実施していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を	15	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に	15	0	●安全計画に基づき、感染症や怪我等などについて注意喚起をおこない事業所規程を設けている	安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を	15	0	●危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしてい	15	0	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じ児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し	15	0	職員に対し、内容周知のための研修を行っています。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	